

<607> 技術分野の「授業づくり」で「情報活用能力」を扱うコツとは？

「情報」は広い概念をもっていますが、技術分野の「授業づくり」で扱う「情報」では、資料に示すような「情報技術」の内容にある「情報の科学的な理解」を中心とした3つの内容を扱うのがコツになります。「情報活用能力」を上手に組み込む「授業づくり」のコツを探ってみてはいかがでしょうか？ また、技術分野で扱う「情報」と「情報活用能力」との関係性を参考資料として示したので時間に余裕があれば、ご覧下さい。

資料：「情報活用能力」の「情報技術」の内容（文部科学省資料より）

情報活用の実践力	<ul style="list-style-type: none"> ・課題や目的に応じた情報手段の適切な活用 ・必要な情報の主体的な収集・判断・表現・処理・創造 ・受け手の状況などを踏まえた発信・伝達
情報の科学的な理解	<ul style="list-style-type: none"> ・情報活用の基礎となる情報手段の特性の理解 ・情報を適切に扱い、自らの情報活用を評価 ・改善するための基礎的な理論や方法の理解
情報社会に参画する態度	<ul style="list-style-type: none"> ・社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割や及ぼしている影響の理解 ・情報のモラルの必要性や情報に対する責任 ・望ましい情報社会の創造に参画しようとする態度

参考資料：技術分野で扱う「情報」と「情報活用能力」との関係

技術分野の「D 情報の技術」で示されている内容は、主に矢印で示す情報活用能力にあたります。

